

令和5年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【生活・生活単元】

掲載数

21

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	小複合	生活・生活単元	防災教育 「地震や火事から命を守ろう」	大きな地震が起きた際に慌てずに対応ができるように防災絵本の読み聞かせをした。読み聞かせ後に、地震がきたら頭を守ることのできる「だんごむしのポーズ」の練習をした。また、机の下に隠れて落ちてくるカラーボールから自分を守ることができた。火事の際は、ハンカチで口元を覆い、低い姿勢で避難をする学習をした。黒いビニールを煙に見立てて、姿勢を低くし煙を吸わないように避難することができた。	絵本 「あわてない あわてない」
2 川崎市	高3	生活・生活単元	防災教育 「自然災害と防災」	自然災害とは何かを考え、生徒たちのイメージを共有し、災害の種類を確認した。その災害が起きる事による環境の影響はどのようなものがあるかを考え、災害時の退避行動や停電、断水などの影響を知った。自宅で生活が困難な場合には避難所へ行くことや非常食について知り、実際に非常食を開封して喫食を行った。普段食のこだわりがある生徒も問題なく食べることができると確認できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年を5つに分けた1グループの内容。 ・動画や写真を用いることで想像しやすいよう工夫をした。 ・乾パンやアルファ米を実際に調理、開封した。
3 横須賀市	小2	生活・生活単元	虫さんだいすき	体育倉庫の近くから、A先生がトカゲを捕まえてきた。クラスで調べてみると、「カナヘビ」という生き物であることを知った。成長すると25cmほどにも成長するらしい。調べてみると、カナヘビは、生き餌しか食べないこともわかった。運動場で捕まえられるバッタをあげて育てることにした。カナヘビは、餌を食べないと生きられないし、食べられるバッタは可哀そうだし、お互いの命の大切さについて考えながらクラスで飼育をした。	
4 湘南三浦	小複合	生活・生活単元	白浜SDGs	給食の生ゴミを堆肥化し、校内の作物育成の肥料とする他、堆肥を用いてカブトムシを育生し、地域へカブトムシを配布した。	生活の授業で継続的に実施した。
5 神奈川県	中3	生活・生活単元	災害から身を守ろう	地震や火事における身の守り方について学習した。防災動画を見たり、火事については消防署より模擬の消火器を借り、的に向けて水をかける練習を行ったりした。まとめとして、校外学習で横浜市民防災センターに行き、地震体験、消火体験、煙避難、減災トレーニングを行った。臨場感のある体験ができ、真剣に取り組むことができた。学校での避難訓練でもその体験を思い出し、スムーズに避難をすることができている。	消防署 横浜市民防災センター (校外学習)

6	神奈川県	小2	生活・生活単元	野菜を植えよう	○トマト・ナス・きゅうりを植える活動を通して、畑に苗を植える経験をした。 ①育てる野菜を知る（トマト・ナス・きゅうり） ②えらんで植える。 ③スコップで土をかぶせる。 ・実った後、自分たちが植えた野菜を楽しそうに収穫する様子が見られた。	タブレットを使用し、活動内容を映像等で分かりやすく提示する。選択させる時も指さしをさせて意志の確認を行う。
7	神奈川県	小6	生活・生活単元	植物の栽培・観察（さつまいも）	さつまいもの苗を畑に植え、収穫までの期間に水やりや成長の観察を行い、育てたさつまいもの収穫の体験を通して、植物の生命力を実感できるようにした。	
8	神奈川県	中2	生活・生活単元	性教育	『からだについて～わたしもたいせつ、あなたもたいせつ』をテーマにプライベートゾーン、人との距離感等を学習した。学習のまとめとしてポスター作成も行った。	
9	神奈川県	高1	生活・生活単元	防災学習	シェイクアウト姿勢についてや、居室内の危険個所の確認等を学習した。また、怪我の手当てや毛布を使った担架の体験等、被災時に自分のできることを主体的に行ってみようという取り組みも行った。	
10	神奈川県	中2	生活・生活単元	交通ルールについて知ろう	写真やイラストを見て、交通ルール（道路の歩き方、横断歩道の渡り方、信号の見方など）を学習した。教室で模擬横断歩道を渡る練習を行い、その様子を動画に取ったものを見て振り返りを行い理解を深めた。さらに近隣校外学習の際に、実際の道路の歩き方や横断歩道の渡り方などを教員と一緒に繰り返し実践し、安全に道路を歩く方法を身に付けた。	自作教材の模擬横断歩道を使用
11	神奈川県	小3	生活・生活単元	畑大根収穫	大根の種から収穫までを学年の畑で行った。種まきの授業では実際に大根の種を見て触って、この小さな粒が給食や家で食べられるあの大根に育つことを伝えながら蒔いた。収穫時には大きな大根や小ぶりの可愛らしい大根、二股に分かれた面白い形の大根を見て、子どもたちからは笑顔が溢れた。どんな形でも全て大根であること、食することで自分たちの成長につながることを伝えた。自宅に持ち帰り、食した様子を保護者より連絡帳等で報告され、子どもたちにもそれらを紹介した。	
12	神奈川県	高3	生活・生活単元	電気の大切さ	SDGsの観点から自分たちの普段の生活を振り返り、現在の電気の使用状況や電気の重要性をワークシートやグループワークを通じて再認識させた。また、単元を通じて地球の環境に対する現状と課題を理解し、自分たちにできることをICTを活用して調べたり、グループに分かれ意見交換をしたりした。電気のない生活について考えさせることで、電気があるから今の暮らしが成り立ち自分らしく生きていけることに気付き、家庭やその他の場面で資源を大切に取る実践できるように進めた。	高等部3年（本校）

13	神奈川県	中1	生活・生活単元	防災教育「災害・避難所体験」	大地震などで家にいることが難しくなるなどの場面を想定して避難所の体験を行った。はじめに実際の災害の様子や避難所での映像を見てイメージを膨らませた後、段ボールベットや非常用トイレの設営、体験、撤収を行った。特に段ボールベットは最初、抵抗感を示す生徒もいたが実際に寝てみるとリラックスをしている様子であった。災害体験では煙発生器を使用して、火災発生時の避難方法についての学習や水消火器体験を行った。自発的に姿勢を低くしながらハンカチを口に当てて避難することは難しい生徒もいたが、教員の指示を聞くことで正しく避難できる生徒もいた。これらの自分の命を守る取組を通して、防災への関心の高まりも見られた。	段ボールベット 簡易トイレ 簡易トイレ用テント fog machine (煙発生器) 水消火器
14	神奈川県	高3	生活・生活単元	防災教育「防災調理」	分教室の生徒は卒業後一人暮らしを希望する生徒が多い。どの学年でも防災単元を取り上げている。卒業が迫った3年生には一人で避難する場合を想定した学習が求められる。DIGマップ作りや避難所生活などを取り上げ、災害時に適切な行動がとれ、命の大切さを意識できるようにした。防災食の単元では、ホームセンターに買い物に行き、様々な種類や調理法などがあることを知った。ライフライン復旧前を想定し水のみで調理できる防災食を購入し、食べやすさやおいしさの違い、適量についても学んだ。この学習を通して卒業後の生活において、いざという時に今回の防災食の試食がいかされることを期待している。	・防災食 ・水
15	神奈川県	小複合	生活・生活単元	花植えをしよう	「公園をみんなでキレイにしよう」という単元の中の一つとして取り組んだ。公園への花植え活動には地域住民の方と一緒に参加しており、事前学習として参加募集のチラシを児童が作成し、そのチラシを近隣住民の方に直接渡しに行った。花植え当日は、自分たちで植えた苗に上から優しく土をかけたり、地域の方と一緒に「大きくなあれ!」と声をかけながら水やりをする様子が見られた。また、学校周辺のプランターにもベゴニアやペチュニア等を植え、定期的に水やりを行った。	小学部全体 (小2・小4・小5・小6の計8名) で実施した。
16	神奈川県	小複合	生活・生活単元	やさいをつくろう	6月～12月の間、野菜を育てることを通して「いのち」にふれる経験をした。初めは、土に触れたり種をまいたり苗を植えたりして、素材のにおいや感触を感じることから始めた。触ることが苦手な児童もいたが、回を重ねるごとに触れることに慣れ、感触を楽しむようになっていった。 水やり係を決め、何名かの児童が毎日決まった時間に水やりを行った。その時間にウォーカーに乗せると、自ら畑の方に向かう姿が見られた児童がいた。また、水やりの際に、芽が出ていたり野菜の成長が見られたりするのを、教員とともに確認し、笑顔を見せる児童もいた。 収穫の際は、教室と畑をリモートでつなぎ、収穫している様子を教室で待機している児童とも共有できるようにした。収穫は、自助具を用いて児童ができる動きで行った。葉を引っ張ってニンジンや大根が抜けたとき、紐を引っ張ってナスやピーマンなどが獲れたときの喜びを、みんなで感じる事ができた。	肢体不自由教育部門 小学部 1～3年の複式学級

17	神奈川県	高1	生活・生活単元	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の身体の違い ・自分の身を守る 	学年を2グループに分けて授業を行った。1時間目は、男女の身体の違いを発表し、特徴や発達に違いがあることを知るとともに性別に関わらず誰も「人として、人間として」尊重されることを学んだ。子ども時代とは違うことを意識して生活することの必要性を知った。2時間目は犯罪者から身を守るために気を付けること、また、人の体に触れてはいけないこと、パーソナルスペースについての学習をした。人を好きになること、興味を持つことは当然のことであるが、一定のルールがあることも合わせて学んだ。	2時間扱い
18	神奈川県	中1	生活・生活単元	<ul style="list-style-type: none"> 「いろいろな食材を知ろう」 ・食材の名称や栄養素について知る ・食材を3つの栄養素に分類する 	1時間目は栄養教諭から食材の名称や3つの栄養素についての話を聞き、いろいろな物を食べることで健康に元気に生活できることを学んだ。2・3時間目はカレーや中華丼等の身近な料理にどんな食材が入っているか、その食材がどの栄養素に属するかを実物や写真等を使用して学んだ。食事や食品への興味関心を高め、バランスよく食べることの大切さを、料理や食材を実際に見たり触ったりすることや、栄養素に分類したりすることで学ぶことができた。食育の指導を通して、いのちの大切さを知ることができた。	講師：栄養教諭 3時間扱い
19	神奈川県	高2	生活・生活単元	『高齢者の生活や体』お年寄りのからだ・高齢者体験	高齢者の身体の変化について学習した後、高齢者疑似体験教材を使って体験することで、高齢者の生活や体について関心を持ち理解を深めることを目的とした。プリント学習で目や耳が悪くなる、力が弱くなる、体が伸びなくなるといいう3つの変化を学習した後、生徒はグループに分かれ、「高齢者」「介助者」のそれぞれの立場を経験した。体験後、生徒からは、バスや電車では席を譲る、高い所にある荷物を取ってあげる、券売機で困っていたら助けるなどの前向きな意見がでた。	高齢者疑似体験教材 (おもりバンド・イヤーマフ、ゴーグル、両足おもりサンダル、疑似体験用ベスト、肘・膝サポーター等)
20	神奈川県	高3	生活・生活単元	防災教育 心肺蘇生 (AED)	AEDの使い方を知り、体験する中で、自分ができることや防災の知識を深めることを目的とした。動画を見て、心肺蘇生法が行われるかどうかで、助かる命、助からない命があることを知ることができた。その後、実際に瀬谷消防署の消防士を講師として招き、指示を仰ぎながらマネキンを使って胸骨圧迫をする人、AEDを持ってきて装着する人、119番をかける人の役割を分担して行った。生徒からは、落ち着いて対応することが大切やAEDの操作方法や場所を覚えておくことが人の役に立つなどの意見があった。	講師：瀬谷消防署消防士 動画「あなたにしか救えない大切な命」
21	神奈川県	小複合	生活・生活単元	こころとからだ	赤ちゃんが生まれてくる過程の寸劇や新生児人形を使った活動を行い、命が生まれて育つために様々な人の協力が必要であることを体感することができた。また、産道トンネル体験や人の成長過程の学習等を通して、自分たちも家族に守られて育ってきたこと、大切な命であることを知ることができた。 体のパーツを使った福笑いやロールプレイを通して、思春期の体の変化やケアの方法について学んだ。また、自分の気持ちを適切に伝えることの重要性について確認し、他の学校生活場面でも、気持ちを表現する機会を設定し、実践することができた。	年間全6回の授業 知的障害教育部門小学部5年生7名、6年生2名